

目標と実績

第5期富士通グループ環境行動計画の実績

重点5分野	第5期環境行動計画の目標(2009年度末)	2009年度目標	2009年度実績	達成状況 ^{※3}	関連ページ
製品・サービスの環境価値向上	スーパーグリーン製品の拡大 ^{※1} 全事業部門で新規開発したグリーン製品を対象に、環境トップ要素を持つスーパーグリーン製品を2009年度末に50%以上とする	スーパーグリーン製品比率50%	30製品群のスーパーグリーン製品を認定。2007年度からのグリーン製品におけるスーパーグリーン製品の比率:63%	○	P57~
	環境効率ファクターの達成 全事業部門で新規開発したグリーン製品を対象に、2005年度製品と比較して環境効率ファクター「2」を2009年度までに達成する	ファクター2.0を達成	2009年度までの新規開発製品のグループ全体平均でファクター3.6	○	P59
	回収した使用済製品の資源再利用の維持 ^{※2} 第4期環境行動計画で達成した事業系IT機器の資源再利用90%以上を維持する	資源再利用率:90%以上	資源再利用率:90.8%	○	P65~
	環境ソリューションの拡大 ITソリューションにおける環境配慮を2009年度までにビジネスのすべての側面に展開する	S1・アウトソーシング領域での環境ソリューションの認定・登録分野を28分野に拡大	2008年度に達成済	○	P61~
地球温暖化対策	エネルギー消費CO ₂ 削減 ●グローバル:実売上高CO ₂ 原単位を2010年度末までに1990年度実績比28%削減する ●国内:事業所におけるエネルギー消費CO ₂ を2010年度末までに1990年度実績以下に抑制する	●グローバル:1990年度実績比73.8%削減 ●国内:1990年度実績比0.5%増加に抑制	●グローバル:1990年度実績比74.4%削減 ●国内:1990年度実績比6.1%削減	○	P67~
	CO ₂ 以外の温室効果ガス削減 CO ₂ 以外の温室効果ガス排出量を2010年度末までに1995年度実績比10%削減する	1995年度実績比10.4%増加に抑制	1995年度実績比5.1%増加に抑制	○	P67~
	グリーンファクトリー、グリーンオフィス制度の適用 2009年度末までにすべての事業所において、グリーンファクトリーまたはグリーンオフィス制度で「二つ星(★★)レベル」以上 [※] を達成する ※ 富士通独自の評価基準を一定以上達成	100%の事業所で★★レベル以上達成	●ファクトリー:100%で達成 ●オフィス:100%で達成	○ ○	P69~
	VOC削減 揮発性有機化合物(VOC)の排出量を2009年度末までに2000年度実績比30%削減する	2000年度実績比30%削減	2000年度実績比31%削減	○	P70~
	廃棄物削減 廃棄物の発生量を2009年度末までに2005年度実績比3%削減する	2005年度実績比3%削減	2005年度実績比18.3%削減	○	P70
	物流・輸送時のCO ₂ 削減 輸送CO ₂ 排出量を2010年度末までに2000年度実績比総量40%削減する	2000年度実績比39%削減	2000年度実績比45%削減	○	P74
	ガバナンスの強化 リスクマネジメントの強化 環境社会貢献	環境マネジメントシステム(EMS)の推進 グローバル統合環境マネジメントシステムの質向上により本業における環境活動を強化する	1.EMS適用範囲の孫・関連会社への適用拡大 2.BU(ビジネスユニット)の自立型環境活動への移行による本業における環境活動の強化 3.公式審査員の増員による内部監査の質の向上 4.オフィスの環境活動の強化	1.EMS適用会社の範囲を拡大への適用拡大 2.プロダクト系BUで環境活動会議を継続実施 3.公式審査員54名登録 4.グリーンオフィス達成のオフィス増加	○
グリーン調達活動の推進 サプライチェーンにおける環境活動を強化する お取引先の活動を支援する ●お取引先の環境マネジメントシステム(EMS)の高度化(ISO14001などの第三者認証システム運用)を推進する ●お取引先の含有化学物質管理システム(CMS)の構築を推進する		1.部材系お取引先の100%でレベルII(FJEMS)以上のEMSを運用する 2.部材系お取引先の100%でCMSを構築する	1.レベルII以上のEMS運用比率:100% 2.CMS構築比率:98.2%	△ ※4	P73
環境社会貢献活動 社員一人ひとりが中心となり、地域社会に根ざした環境社会貢献活動を行う		環境社会貢献活動の実施件数 ●国内:すべての拠点で1件/年 ●海外:すべての拠点で1件/3年	●国内:すべての拠点で実施 ●海外:すべての拠点で実施	○	P75

※1 2007年度の実績が当初目標を大幅に上回ったため、2008年度より目標値を50%に上方修正しました。

※2 製品のダウンサイジング化に伴い回収量が減少したため、2008年度より行動計画目標から社内管理指標とし、目標を「資源再利用率90%以上の維持」に変更しました。

※3 「○」は達成、「△」は一部未達成状況を表しています。

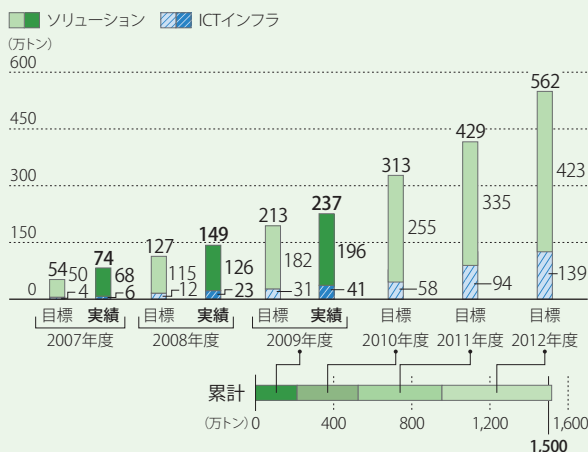
※4 2010年度上期中に100%達成する見込みです。

Green Policy InnovationプロジェクトによるCO₂排出量削減実績

富士通グループは、グリーンICTの提供を通じた環境負荷低減プロジェクト「Green Policy Innovation[®]」を2007年度より推進しています。このプロジェクトの推進により、2009年度から2012年度の4年間にグローバルで累計1,500万トン以上のCO₂排出量削減に貢献するという目標を掲げており、2009年度はICTインフラの提供により約41万トン、ソリューションの提供により約196万トン、合計約237万トンのCO₂排出量削減に貢献しており、目標を上回って進捗しています。

※ Green Policy Innovationの詳細はP38をご参照ください。

「Green Policy Innovation」によるCO₂排出量の削減貢献目標と実績



「グリーンICT」「グローバル」「生物多様性」の視点から、富士通グループらしい新しい環境行動計画に取り組みます。

2009年12月、コペンハーゲンで開催された気候変動枠組条約のCOP15は世界中の注目を集め、また、2010年10月には名古屋で生物多様性条約のCOP10が開催されることで、企業と生物多様性への関心も急速な高まりをみせています。

こうしたなか、富士通グループは、ICTの利活用によりお客様や社会におけるさまざまな環境課題の解決に貢献していくとともに、富士通グループが提供する製品・サービス、また事業活動そのものをよりグリーンにしていこうと努めています。

2009年度は、第5期富士通グループ環境行動計画の最終年にあたり、ほぼすべての項目で目標を達成できました。例えばスーパーグリーン製品の開発や、輸送CO₂排出量の削減などは当初計画を大幅に上回る成果を挙げることができました。また、グリーンICTプロジェクト「Green Policy Innovation」の推進により、約237万トンのCO₂排出量削減に貢献しています。

2010年度から、「グリーンICT」「グローバル」そして「生物多様性」をキーワードとする第6期環境行動計画を新たにスタートさせます。

経済と環境の両立に必要な不可欠なグリーンICTを研究開発という上流段階から開発強化していきます。また、2009

年度からは富士通テクノロジー・ソリューションズ (FTS) がグループに加わりました。このFTSはグリーンICTに関する優れた技術やノウハウ、また製品開発力をもっています。このような富士通グループが蓄積してきた多くの技術やノウハウをお互いに共有することで、富士通グループのグリーンICTをグローバルにさらにレベルアップしていきます。さらに第6期環境行動計画からは、持続的な企業活動の基盤である生物多様性の保全を新たに目標に加えており、富士通グループらしいICTによる貢献の可能性を探っていきます。

この第6期環境行動計画は、富士通グループの中期環境ビジョン「Green Policy 2020」の実現に向けた最初のステップとなるものです。グループ丸となってこの目標の達成に取り組み、お客様・社会とともに低炭素で豊かな社会の実現をめざしていきます。

常務理事 環境本部長
高橋 淳久

